

デジタル技術による文化財情報の記録と利活用 3

－著作権・文化財動画・GIS・三次元データ・電子公開－

目 次

1. 総論

- [1] デジタル時代において文化財専門家に求められること 1
高田 祐一 [奈良文化財研究所]

2. 著作権・知的財産権

- [2] 文化財動画をYouTubeで公開する際の注意点 8
矢内 一正 [一橋大学大学院]
- [3] 制度を使いこなす上での3つのレイヤー 15
福島 幸宏 [東京大学大学院情報学環]

3. 文化財多言語化の状況

- [4] 中国「数字文博」の歩み－考古学・博物館学におけるデジタル施策－ 19
吳 修喆 [奈良文化財研究所]
- [5] 韓国と日本の史資料オープンデータの現況と展望 25
－韓国史データベースと国立公文書館デジタルアーカイブの比較を通じて－
扨 素妍 [奈良文化財研究所]
- [6] 日本における時代情報のPeriodOへの登録 32
武内 樹治 [立命館大学大学院]

4. 文化財動画の取り組みと効果

- [7] 文化財の調査と活用のための文化財動画の潜在的な可能性 37
国武 貞克 [奈良文化財研究所]
- [8] 埋蔵文化財保護行政における動画のあり方を考える 40
芝 康次郎 [文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門]
- [9] 文化財動画ライブラリーとYouTube－文化財動画が効果的に視聴されるために－ 44
高田 祐一 [奈良文化財研究所]
- [10] 埋蔵文化財センターによる動画の公開 53
小久保 拓也 [八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館]
- [11] 市町村における全国遺跡報告総覧の活用事例－三重県明和町－ 57
味噌井 拓志 [三重県明和町役場 斎宮跡・文化観光課]

5. GIS

- [12] 考古学・文化財地理空間情報のオープンデータ化、整備と活用63
野口 淳 [奈良文化財研究所]
- [13] 刊行物およびGISによる遺跡地図の公開状況78
高田 祐一 [奈良文化財研究所]・武内 樹治 [立命館大学大学院]

6. デジタル技術による記録とデジタルアーカイブ

- [14] デジタル技術を利用した金工品の実測図作成法試論84
諫早 直人 [京都府立大学]
- [15] 文化財業務で使える国立国会図書館の電子図書館事業90
大森 穂乃香・中村 魁 [国立国会図書館]
- [16] 考古学デジタルデータのアーカイブにおけるビジネスモデル－イギリス ADSの事例から－ 100
高田 祐一 [奈良文化財研究所]

7. 文化財三次元データの取り組みと効果

- [17] ミュージアムにおける3Dモデルの公開－大阪歴史博物館の場合－ 104
加藤 俊吾 [大阪歴史博物館]
- [18] 熊本県での文化財三次元データ活用の事例 110
木村 龍生 [熊本県教育庁教育総務局文化課]
- [19] 人口減少が著しい飛騨市で文化財データ公開を進める意義 116
三好 清超 [飛騨市教育委員会]
- [20] 公開を目的とした3Dモデルのデータ量削減方法 120
仲林 篤史 [東大阪市]

8. 文化財報告書の電子公開と図書館

- [21] 埋蔵文化財情報のデジタル化－岡山県の事例－ 130
大橋 雅也 [岡山県教育庁文化財課]
- [22] 福岡市における発掘調査報告書のデジタル化と公開について 136
今井 隆博 [福岡市経済観光文化局埋蔵文化財課]
- [23] 全国遺跡報告総覧の課題と展開 139
菅野 智則 [東北大学埋蔵文化財調査室]
- [24] 法人調査組織における報告書等の電子化と情報公開について 145
松田 直則・山崎 孝盛 [(公財)高知県文化財団埋蔵文化財センター]
- [25] 2020年度数字で見る全国遺跡報告総覧 153
高田 祐一 [奈良文化財研究所]

- English Table of Contents 157